

地域密着型金融推進計画

1. 「集中改善期間」の取組評価

平成15年度から16年度にかけて取り組んできた「リレーションシップバンキングの機能強化計画」については、ほぼ計画どおりに進捗し、合格点の結果であったと判断している。

具体的には、中小企業金融の再生に向けた取組では、研修等を通していわゆる「目利き」のできる人材の育成、無担保・無保証の新商品(しょうしんTKC経営者ローン)の発売、さらに中小企業支援センターを活用した企業再生支援などに取り組んできた。

金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組では、監査法人による監査のもと、財務内容の正確性、透明性の確保に努めてきた。また、半期開示を開始するなど、ディスクロージャーにも積極的に取り組んできた。

さらに研修等を通して役職員のコンプライアンス意識の醸成に努めるとともに、顧客への説明態勢についても徹底を図ってきた。顧客の苦情、相談についても「お客様相談室」を中心として組織的に対応してきた。

2. 地域密着型金融推進計画

(1) 取組方針

事業再生・中小企業金融の円滑化

事業再生への取組を最重要課題として、「集中改善期間」以上の効果が挙がるように積極的に取り組む。また、「集中改善期間」に引き続き、「目利き」のできる人材育成、無担保・無保証商品(しょうしんTKC経営者ローン)の積極販売にも取り組む。さらに、顧客への説明態勢の強化、相談・苦情に対する対応強化についても、引き続き取り組む。

経営力の強化

コンプライアンス態勢の強化、リスク管理態勢の強化が最重要課題である。コンプライアンス、リスク管理は組合経営の根幹を成すものであるという認識のもと、財務内容の一層の健全化を図り、安定収益が確保できる組合を目指す。

地域の利用者の利便性向上

従来より活用している「CS向上シート」、さらに新たに実施する利用者アンケートを利用して、さらに積極的な取組を展開することにより、顧客満足度の向上を目指す。

(2) 推進計画

項目	具体的な取組み・目標	スケジュール				備考
		17年度		18年度		
		上期	下期	上期	下期	
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化						
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・県制度資金の活用 ・各公庫の創業支援資金の利用申込の受付 ・審査能力向上のため外部研修への参加 ・融資担当者向けの組合内研修の実施 	・研修の実施		・研修の実施		
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営相談委員会」主導により健全債権化を実施 ・「中小企業支援センター」の活用(計画期間中15事業所の利用目標) ・「しょうしんクラブ」を通しての経営情報提供 ・企業再生支援専任者の配置 ・「中小企業再生支援協議会」のパンフレットの設置 ・外部研修への参加 ・内部研修の実施 ・債権健全化の実績公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・「経営相談委員会」主導による健全債権化 ・「中小企業支援センター」の活用 ・「しょうしんクラブ」を通しての経営情報提供 ・企業再生支援専任者の配置 ・外部研修への参加 ・内部研修の実施 ・債権健全化の実績公表 		<ul style="list-style-type: none"> ・「経営相談委員会」主導による健全債権化 ・「中小企業支援センター」の活用 ・「しょうしんクラブ」を通しての経営情報提供 ・企業再生支援専任者の配置 ・外部研修への参加 ・内部研修の実施 ・債権健全化の実績公表 		
(3) 事業再生に向けた積極的取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「中小企業再生支援協議会」の紹介 ・「中小企業支援センター」活用成功事例の公開検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・「中小企業再生支援協議会」の紹介 ・成功事例の公開検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「中小企業再生支援協議会」の紹介 ・成功事例の公開検討 		
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等						
担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「スコアリングシート」を活用した無担保・無保証人の融資推進(「ファースト」「しょうしんTKC経営者ローン」) ・県制度資金を活用した無担保・無保証人の融資推進(「ぎふ無担保スピード資金」) ・無担保・無保証人商品を計画期間中10億円実行を目標 ・CRDによる信用リスクデータベースの整備、充実、活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「スコアリングシート」活用融資商品の販売推進 ・県制度資金「ぎふ無担保スピード資金」の推進 ・外部機関データベース(CRD等)の評価精度の調査・研究 		<ul style="list-style-type: none"> ・「スコアリングシート」活用融資商品の販売推進 ・県制度資金「ぎふ無担保スピード資金」の推進 ・CRD導入の検討 		
中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> ・「しょうしんTKC経営者ローン」の推進を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しょうしんTKC経営者ローン」の積極推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・「しょうしんTKC経営者ローン」の積極推進 		

項目	具体的な取組み・目標	スケジュール				備考
		17年度		18年度		
		上期	下期	上期	下期	
(5)顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	・組合内研修の継続実施 ・事例対応のQ & A集作成 ・「クレームシート・CS向上シート」の活用推進	・研修の実施 ・「クレームシート・CS向上シート」の活用の徹底	・「クレームシート・CS向上シート」の活用の徹底 ・事例対応のQ & A集作成と活用の徹底	・研修の実施 ・「クレームシート・CS向上シート」の活用の徹底 ・事例対応のQ & A集作成と活用の徹底		
(6)人材の育成	・外部研修への参加と研修内容のフィードバック ・融資担当者向けの組合内研修の実施 1.融資担当役員者会議を利用した研修 2.融資担当役員者によるブロック毎の研修 3.新任融資役員者、渉外役員者向けの研修	・研修の実施		・研修の実施 ・外部研修への参加		
2. 経営力の強化						
(1)リスク管理態勢の充実	・自己資本比率の算出方法の精緻化の検討と確立 ・リスク管理の高度化の検討と確立 ・情報開示の拡充に係る態勢整備の検討と実施	・新BIS規制の内容の検討		・新BIS規制に対応した算出方法の確立		
(2)収益管理態勢の整備と収益力の向上	・事業性融資の新規融資に対する、支店長・融資役員者による同行指導の実施 ・新規融資案件の収益性を考慮した適正な融資利率についての指導を実施 ・「融資推進チーム」(仮称)を設置し、融資指導、融資情報収集を推進 ・CRD(有限責任中間法人CRD協会)の導入により信用リスクデータベースの整備、充実、活用 ・既存融資案件の債務者のリスクにあった適正な融資利率への見直しの実施 ・各種手数料の徴収状況の集計管理と完全徴収の指導を実施 ・有価証券等は投資計画に従い、リスク量の管理しながら効率的な運用を実施 ・ALMシステム新バージョンへの切り替え	・支店長・融資役員者による同行指導の実施 ・上期に「融資推進チーム」を設置し、下期より活動開始 ・融資先ごとの適正な融資利率設定の指導 ・外部機関データベース(CRD等)の評価精度等の調査、研究 ・各種手数料の徴収状況の集計管理と完全徴収 ・有価証券等の運用は投資計画に従い効率的な運用 ・ALMシステム新バージョンへの切り替え		・支店長・融資役員者による同行指導の実施 ・「融資推進チーム」の活動推進 ・融資先ごとの適正な融資利率設定の指導 ・CRD導入を検討 ・各種手数料の徴収状況の集計管理と完全徴収 ・有価証券等の運用は投資計画に従い効率的な運用 ・ALMシステム新バージョンの活用		
(3)ガバナンスの強化	・半期開示の内容の充実 ・「CS向上シート」の活用、「総代面談記録」「利用者アンケート」を実施し、総代会機能の強化を実施		・平成17年9月期の半期開示の実施 ・「CS向上シート」の活用の推進 ・「利用者アンケート」の実施と取りまとめ	・「総代面談記録」の実施 ・「CS向上シート」「利用者アンケート」による改善項目の公表 ・平成18年9月期の半期開示の ・「CS向上シート」の活用の推進		
(4)法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化	・役員による臨店指導の継続実施 ・コンプライアンス担当者の自店チェックの実施 ・監査部によるコンプライアンス状況の監査の実施 ・コンプライアンスプログラムの進捗状況の理事会・常務会への報告 ・「個人情報保護監査規程」の作成と同規程に基づくチェックの実施 ・個人情報管理責任者の自店チェックの実施 ・組合内研修の実施	・役員臨店指導の実施 ・店内研修の実施 ・コンプライアンス状況の担当者チェックの実施 ・コンプライアンス状況の監査部監査の実施 ・コンプライアンスプログラム進捗状況の報告 ・顧客情報管理態勢の整備 ・「個人情報保護監査規程」の作成 ・個人情報管理状況の責任者チェックの実施	・役員臨店指導の実施 ・店内研修の実施 ・コンプライアンス状況の担当者チェックの実施 ・コンプライアンス状況の監査部監査の実施 ・コンプライアンスプログラム進捗状況の報告 ・「コンプライアンス関連チェック表」の見直しの実施 ・「個人情報保護監査規程」に基づく監査の実施	・役員臨店指導の実施 ・店内研修の実施 ・コンプライアンス状況の担当者チェックの実施 ・コンプライアンス状況の監査部監査の実施 ・コンプライアンスプログラム進捗状況の報告 ・個人情報管理状況の責任者チェックの実施 ・「個人情報保護監査規程」に基づく監査の実施	・役員臨店指導の実施 ・店内研修の実施 ・コンプライアンス状況の担当者チェックの実施 ・コンプライアンス状況の監査部監査の実施 ・コンプライアンスプログラム進捗状況の報告 ・「個人情報保護監査規程」に基づく監査の実施	
(5)ITの戦略的活用	・「顧客情報管理システム」の機能拡充による、より効果的な渉外活動の支援 ・「本支店間集計システム」「定型文書管理システム」の導入により、内務事務効率化ならびに営業推進管理強化 ・新情報システムの管理コストの低減	・「顧客情報管理システム」のシステム開発 ・「フレッツ音声統合パッケージ」による全店ネットワークの運用開始 ・全店のパソコン機器の更新	・新情報システムの研修の実施 ・「顧客情報管理システム」「定型文書管理システム」の運用開始 ・「本支店間集計システム」の試行 ・「資産管理ソフト」の導入	・「本支店間集計システム」の運用開始 ・「資産管理ソフト」による情報系資産の管理状況検証とシステムの見直し	・「資産管理ソフト」による情報系資産の管理状況検証とシステムの見直し	

項目	具体的な取組み・目標	スケジュール				備考
		17年度		18年度		
		上期	下期	上期	下期	
(6) 協同組織中央機関の機能強化	・全国信用協同組合連合会の効率活用	・全信組連の効率活用		・全信組連の効率活用		
(7) 検査、監督体制						
3. 地域の利用者の利便性向上						
(1) 地域貢献等に関する情報開示	・地域貢献に関する情報開示の継続実施 ・利用者からの頻度の高い質問、相談等のQ & Aを作成し、ディスクロージャー誌、ホームページでの公表	・ディスクロージャー誌への地域貢献の状況の掲載	・ホームページへの地域貢献の状況の掲載	・ディスクロージャー誌への地域貢献の状況、Q & Aコーナーの掲載	・ホームページへの地域貢献の状況、Q & Aコーナーの掲載	
(2) 中小企業金融の実態に関するデータ整備						
(3) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	・現行の「CS向上シート」の利用の継続実施 ・アンケート調査の実施	・「CS向上シート」の回収と対策検討、対応策の実施 ・アンケート調査の実施方法の検討	・「CS向上シート」の回収と対策検討、対応策の実施 ・アンケート調査の実施、回収と対策検討、対応策の実施	・「CS向上シート」の回収と対策検討、対応策の実施 ・アンケート調査の対応実施項目の公表	・「CS向上シート」の回収と対策検討、対応策の実施	
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等	・「商工会議所ローン」、および、「ぎふ無担保スピード資金」(岐阜県制度資金)の取扱い継続	・「商工会議所ローン」、および、「ぎふ無担保スピード資金」の取扱い継続 ・各施策への検討と協力		・「商工会議所ローン」、および、「ぎふ無担保スピード資金」の取扱い継続 ・各施策への検討と協力		
(5) 利用者等の評価に関するアンケート調査						
4. 進捗状況の公表	・ディスクロージャー誌、ホームページでの進捗状況の更新(半期毎)		・ホームページでの公表	・ディスクロージャー誌、ホームページでの公表	・ホームページでの公表	